



## 動物との共生を考える連絡会とヒューメイン・ソサイエティー・インターナショナルが日本における実験動物の福祉を向上させるための協力体制を公表

東京 (2015年11月9日) — 動物との共生を考える連絡会とヒューメイン・ソサイエティー・インターナショナル(Humane Society International, HSI)が動物の愛護及び管理に関する法律(以下、動物愛護法)の次回の改正に向けて、日本の実験施設における動物の境遇を改善するために新たに協力体制を築くことを表明した。動物との共生を考える連絡会とHSIの共同の改正案は、動物実験施設の規制の強化、動物福祉の向上や、最先端の科学を用いた動物を用いない代替法の活用と開発の促進による実験動物の代替や削減等、日本の実験動物に関する規制が国際的に最も厳しい基準に足並みを揃えられるような改正点を含む予定である。

動物との共生を考える連絡会とHSIは、動物愛護法の改正に向けて、2016年に始まる法の見直し期間中に所轄省庁や国会議員に対して共同で働きかけを行う。

動物との共生を考える連絡会の青木貢一代表は次のように述べている。「動物との共生を考える連絡会は、【動物の愛護及び管理に関する法律】の次回法改正に向け、グローバルな動物愛護団体であるHSIと協働で、動愛法第41条における「実験動物」に関する条文のより良い改正に向けて、国会議員と、この法律を管轄する環境省に対し、積極的かつ有効な働きかけを行います。同時に、法律の制定及び改正は、その時々々の国民意識の反映でもあることから、一般の方々へのPRも含め、日本において実験施設や農場等で使われる動物を含めた、あらゆる動物種に対する、愛護精神や福祉意識の向上を目指します。」

HSIの研究・毒性学部門のディレクターのトロイ・サイドルは次のように述べている。「動物との共生を考える連絡会とパートナーシップを結ぶことを嬉しく思います。日本における動物福祉の向上に取り組んできた動物との共生を考える連絡会の経験とHSIの科学的及び国際的活動における専門性が、動物愛護法のより良い改正を促し、日本の実験施設における動物の保護の基準の改善につながればと期待しています。」

以上

問い合わせ:

HSI (日本): 山崎佐季子, [syamazaki@hsi.org](mailto:syamazaki@hsi.org) (日本語・英語対応可)

東さちこ, 070-5584-9546, [sazuma@hsi.org](mailto:sazuma@hsi.org) (日本語対応のみ)

HSI (イギリス): Wendy Higgins, +44 (0)7989 972 423, [whiggins@hsi.org](mailto:whiggins@hsi.org) (英語対応のみ)

動物との共生を考える連絡会: 佐々木靖幸, (042)-623-8797, [info@dokyoren.com](mailto:info@dokyoren.com)

注釈

ヒューメイン・ソサイエティー・インターナショナル(Humane Society International, HSI) 及びそのパートナー団体は、世界最大級の動物保護団体です。HSIは20年近くにわたり、科学、アドボカシー、教育及び実践プログラムを通して全ての動物の保護に取り組んできました。「世界中の動物に畏敬の念を示し、動物虐待に立ち向かう」ウェブサイト — [hsi.org/endanimaltesting](http://hsi.org/endanimaltesting) (英文のみ)

動物との共生を考える連絡会は、「人と動物が共に幸せに暮らせる社会づくりを目指す」という趣旨に賛同した団体・法人・個人の連合体であり、「動物の愛護および管理に関する法律」を国民に周知し、同時にこの法律をより良いものに改正するために、管轄官庁や行政自治体、国会議員などへのロビー活動などを行う連合体です。ウェブサイト — <http://www.dokyoren.com/>

